

磐城時報

編輯部 磐城石城郡平町三丁目
印刷部 磐城石城郡平町三丁目
電話 二二二
代印部 磐城石城郡平町三丁目
電話 二二二
廣告部 磐城石城郡平町三丁目
電話 二二二
印刷部 磐城石城郡平町三丁目
電話 二二二

婦女子の深夜業廢止 常磐炭礦で反對

鑛山監督局に撤廢運動

常磐石炭鑛業會では既に制定された鑛夫勞務扶助規則中の「保護鑛夫の深夜業廢止」の撤廢方針につき今回仙臺鑛山監督局へ請願した保護鑛夫選出婦と十六才未満の男子は本年三月から深夜業就勞を廢止され(但し實施期は猶豫)明年三月から常磐炭坑一律に斷行されるが、常磐炭は他地方の産出石炭に較べて炭質不良、炭價も低廉加ふるに坑内水多量のため生業就勞者の生活にも異變を來すと産費は嵩み極めて不利な稼業で各炭坑結束してこの撤廢運動を繼續して居り、殊に深夜選出婦を起したものである。

宗教映畫より前進

時代考證と史實に苦心

祐天一代記の脚本を發表

(昨報) いよいよ本格的撮影に着手することになった「祐天一代記」映畫化の筋書き發表會は昨十日後六時から平町谷口樓で上入出生の地たる大浦村の村長木村清治氏、青沼平町長、篠山第一、赤津第三小學校長、野崎縣議、原作者阿部最勝院住職、在平日刊記者を招き發起人完壁を期し従來の宗教映畫の味高木喬氏挨拶のち脚色監督大香齋から脱却して傑作祐天が澤恒夫氏が脚本を朗讀發表した示した法悦派の「眞理」を銀幕か同映畫のプロットは上人が十の奔流の如くはばらして見定。

愈よ土地收用法

第三小學校敷地買収 縣から調査官來る 平第三小學校の運動場擴張敷地買収交渉不承諾者四名に對しては町當局では遂に土地收用法の最後の手段に訴へる外なしと壯を極めて居るが、來る十四日縣

村長派が慘敗

紛紜の草野村後任村長選舉 元助役芳賀氏が當選

草野村では現村長鈴木長壽氏任期満了による後任村長選舉をめぐり二派に分れて暗躍して居たが去る八日村會を招集して出席議員が定數に滿なかつたため流會となり昨日改めて村會を開き選舉の結果元助役芳賀氏の助氏八票、現村長鈴木長壽氏四票で村長派慘敗を喫し芳賀氏が當選した。村治三十年に一身を賭した鈴木氏の落選は寂しい末路であるといはれて居る。

土木課から渡邊縣屬が現地視察に來平することになり、この調査の結果に基づいて愈よ土地收用法の審議にかけられるものと見られて居る。

佐藤代議士 歡迎宴盛況

萬國議員會議から歸つた代議士佐藤庄太郎氏の歡迎會は十日午後一時半から平町平館で開き、金成上院議員、鈴木代議士、木村前代議士、青沼町長、關内縣議、以下有志四百余名出席。鈴木代議士の開會の辭に次いで一時半に互る佐藤代議士の歐米視察談あり、青沼町長の發聲で佐藤代議士萬歳をつた。先づ商店街に於ける福引の抽籤に不正なきやう、商品の斤量検査の勵行、サラリーマンのボーナスを當込んで飲食店の女達の風紀を案さぬやう、其他各般に互るものである。

ボーナスと花柳界 當局が風紀取締り

商店街の不正賣出し等に 平署・歳末特別警戒の陣

巷に師走の風が吹いてをろくく歳末狂騒曲が奏でられるやうになつた、商店では大賣出しや福引の準備に忙しくサラリーマンはボーナスの胸算用に北叟笑ひ年の瀬に付き物の犯罪もこれか發生するので平署では管内各派出所、駐在所に警の取締りに關する通牒を發し管内一齊に歳末特別警戒の陣を布ぐことになつた。先づ商店街に於ける福引の抽籤に不正なきやう、商品の斤量検査の勵行、サラリーマンのボーナスを當込んで飲食店の女達の風紀を案さぬやう、其他各般に互るものである。

位日の出これに次ぎ、講談俱樂部、富士は同格で第三位、オムニブスで主婦之友が第一位、婦人雜誌がこれに次いで居る。婦人雜誌では主婦之友が第一位、婦人俱樂部が殆んどこれに接近して居る。子供雜誌では少年俱樂部第一位、幼年俱樂部、少女俱樂部が第二位で、九大雜誌を發行する講談社が量からいつて依然として名實共に雑誌界の王座に君臨して居る。たゞその間にあつて主婦の友が斷然一境地を開いて居る点、日の出が最近キングに伍して堂々進出して來たことは見逃せない事實で、婦人公論、オール讀物の積極的地盤獲得もまた驚異とされて居る。更に新年と共に新しくペンを走らせる日記の方はどうかと見るに、最も重寶がされて居るのが半圓日記で博文館のもののが最も多い。何せ新年號發賣のトップを切つたのが去る二日のキングで、普通の月の約倍の部数を捌かうとする雑誌戦線は太いに活氣を呈し一日と歳末狂騒曲が奏でられて行く。

勿來農産品評 勿來町農會主催農産品評會は九日から三日間開き出品三百七十余點、うち賞左の如し
道山上組實行組合、加藤正美、金成永次郎(二点)、赤津精、齋藤兼太郎(二点)木内玉次郎(外十四點)

販賣戦線も耐はれ 早や書店に新年

新年號雜誌、日記を山と積み 各書店大車輪の活躍

早くも雑誌會には昭和十一年の屋の店頭は新年の零圍氣をこの春が訪れた。時代の尖端を切つて大賑ひだ、そこで平町にはこの雑誌界は十一月の中に早くもこれだけの雑誌部數が入つて居る。昭和十年に「永久にさよなら」かを調べて見ると、部數は發表設の落成式は来る十七日午前十時より同校講堂に於て開催する。當日は新講堂で唱歌演奏會署で取調へ中。

を行なふので四倉校よりは尋常六學年生渡邊善勝さん外男女十名が出席することになつて居る。同校六學年生は過般平第三小學校に於ける唱歌演奏會に優勝したる級である。

廣澤虎造師來演

愛讀者慰安會

俠客讀みの名人としていま浪曲隨一の人氣の焦點にある廣澤虎造師一行はいはらき新聞平支局愛讀者慰安會の招聘に應じ來る十七日平町聚樂館で開催するが出演者は虎造師を筆頭に木村重友、雲井雷太郎、木村友春、東家小樂燕外一行廿余名で早くも浪曲ラマンの前人氣を博して居る。

サロンの 美味で

平町田町 電三五二

大浦農産物 大浦村の農産品評會

十五日同村小學校に開くが出品約三千點に達する見込で即賣も行ふ。

持逃げと早合点 仲間を殴る

亂暴な三名を告訴 平町田町内商吉安吉(三二)外二名は去る六日内郷村兎仲買商鈴木清(二七)と一緒に存みあるきこれから何處かへ繰り込もうと吉安吉が金の入つて居るオリーブを鈴木に預けたところ鈴木が一才用便に行つたのを待ち逃げと早合點した三名は追ひかけて袋叩きにし全治二週間の傷害を與へて鈴木から告訴され目下平

久ノ濱校落成式 祝賀唱歌會に 四倉校生出場

總工費三萬餘圓を投じた双葉郡久之濱町小學校増築並に講堂新設の落成式は来る十七日午前十時より同校講堂に於て開催する。當日は新講堂で唱歌演奏會署で取調へ中。

魚清自慢のなべ料理

始めました

鳥なべ・ありなべ
よせなべ・ねぎまなべ
かきなべ・はもなべ
あんこなべ

出前も迅速に致します

平三警署署長通り

魚清食堂

電話六三三番

魚名すから

ヒラメ凍魚



海老・鯛・鰯・鰯・鰯
甘鯛・立貝・ワカサギ
白魚・ワカサギ・鰯
その他

日本産手特約(三三三三六番)

平製氷會社
平野清
電話六九三番

蓄膿症快鼻湯

本剤は幾多の薬剤あり、雖他薬の及ばざる良薬であります。左の病症の方は一時も早く服用され快癒され、事を御奨め致します。
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

家傳胃腸藥 製造元 **水野藥局**
快鼻湯 責任製劑者 藥劑師 水野清
電話六九九番

警城國平町一丁目

RESTAURANT. TEA AND WINE

洋食 喫茶

度有難う存じます
コンパル
平町電六六六番

國防色外套賣出

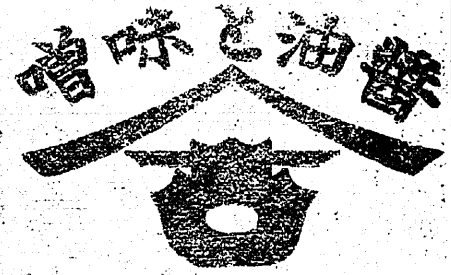
新制定の國防色羅紗製防寒防水の完備品

2尺6寸...10...60...
各寸30錢ヨリ

ふかや洋服店 平電 203

牛豚肉

平町田町
三三三三三屋
電話三三三三番



山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部専用)二〇番
一般用器二七番
發替東京一九七五番

明治生命 警城代理店 山崎與三郎

和洋銅鐵金物問屋



釜屋商店

諸橋久太郎
電話九九

耳鼻咽喉科専門

平田町(電六九一)
病室完備 自炊ノ便アリ
山内醫院
醫學士 山内亨吉

高久病院

平町田町(電話五二三番)
醫學士 高久忠
新瀨醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

紫山流盤景教授

一、材料器具が安く何回でも使はれる。
一、練習二、三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
一、一週間一回六ヶ月で修業出来る。
一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出来る。

平町白銀町
紫山流 盤景師 高橋光山
電話六三八番

吸入用酸素純度99%



モノサシ
ハカリ
マス



体温器
寒暖計

●秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス

●寫眞機 材料一式

關内藥局

電話四〇番

吉田眼科病院

平町新屋町(電話六八番)

諸橋外科醫院

電四六四
平新川町二七

外科 皮膚科・花柳病科
內臟科 レントゲン科

醫學博士 諸橋鐵彌
醫學士 與義弘